

平成29年10月17日

## 「PC2001プラス」(Ver 2.53) 改訂内容

### ◆修正点

#### ○ 出力部分について

- ・ 一本部材を指定した場合に断面検定表(2)で出力される『積雪時の検討』で、梁中央部の曲げ耐力  $M_u$  値が断面検定表(1)に出力されている値と異なっていたので修正いたしました。
- ・ 片持ち梁を指定した場合のたわみの検討で、プレストレスによる「むくり」の値を負値で表示するように修正いたしました。
- ・ PRC 断面検定表(1)の計算式説明文が略算(4)を選択した場合、異なる計算式説明文が出力されていたので修正いたしました。
- ・ 出力の § 4 断面計算→1.断面計算条件部分の出力表示を下記に訂正及び追加をいたしました。
  - ・ (11) 曲げ終局耐力一部材種別の選択 PC柱： 全鉄筋本数 → 引張側鉄筋
  - ・ (24) 垂れ壁入力考慮 考慮する (考慮しない)
  - ・ (25) 導入時の検討 検討する (検討しない)：ただしPRC梁、RC柱梁のみ

#### ○ CSV出力について

- ・ 一本部材の指定した場合にCSVで出力される  $Q_u$  値が、断面検定に出力されている値と異なっていたので修正いたしました。

### ◆変更点

#### ○ 出力部分について

- ・ 各断面算定表(2)の導入時検討と検定比、及び導入時の検定比図を出力しない仕様としました。

※下記の点に注意してご使用ください。

片持ち梁の指定をした梁について、断面検定表の出力は元端のみとなりますが、プログラム内で先端の検討を行っており、断面検定の判定の出力に考慮されています。そのため、出力表示されている元端にNG箇所がないが、判定がNGとなってしまう場合があります。その場合、片持ち梁の指定を解除してNG箇所を確認してください。